

このアンケート結果は、2019年5月28日に大阪府庁で行われた「奨学金等制度に係る説明会」において、参加者の方々に記入いただいたものを府立人研 事務局にて編集しています。

## 1 <工夫された点や困った点について>

### 給付型

- ①給付型応募は内容・対象を確認せず、ほとんどの生徒が応募してきたので不採用を伝えるのが大変だった。
- ②前任者からは給付型の校内審査に関する業務(基準等)が非常に大変だったと引き継ぎましたが、今年度はそれが無いので少しホッとしています。

### スカラネット入力と前後の指導

- ①IDとパスワードを書類配布時に記入をお願いする。
- ②140人近い応募者があったが自宅入力は2人で、他はコンピューター室で10人前後ずつ一週間かけて入力させた。大変な重労働。
- ③生徒、保護者からの質問は全てメールで対応しました。また、質問日を2、3日設けて指定時間、指定場所で対応しました。
- ④入力をすべて教員が行っているのに生徒がマイナンバーを提出するタイミングが難しかった。その時の個人情報(国籍等)の扱いが難しい。
- ⑤添付書類はすべてA4サイズにして提出させる。
- ⑥入力時に再度案内文(一週間以内に何をどこにどうやって送るか)を渡してマイナンバー提出に対応した。
- ⑦入力画面に合わせての下書き用紙の順番を書いたプリントを配布。
- ⑧下書き用紙提出の段階で全項目チェックして書かせれば入力はラク。
- ⑨事前配布のプリントと実際の入力が違う。和暦で記入→西暦入力など分かりにくかった。
- ⑩スカラネット入力前の提出書類点検が大変である。個人情報を扱っているため、窓口を担当者のみに絞っているから対応が大変。申し込みも多いし、浪人生に連絡をとるのも時間がかかる。
- ⑪約80名全員自宅で入力させましたが完了しました(校内で集めて指導する必要なし)。
- ⑫入力は主に昼休みに15名単位を呼び出し、入力させたので大変だった。

### スカラシップアドバイザー

- ①スカラシップアドバイザーが始まったおかげで「奨学金保護者向け説明会」ができたことが収穫。

#### 進路調査・奨学金チームより

スカラシップアドバイザーは機構の職員ではないので、入力やシステムについて実践的なことはわからないこともあるようです。

## 個人情報

- ①あくまで生徒が借りるものなので生徒から保護者に伝えるかたちになっている。
- ②生徒の世帯調査など個人的なところに踏み込むのが辛い。
- ③下書き指導の際、見本を見せて書かせました。全体の指導となるため、生活保護家庭や母子家庭、苗字が異なる家庭などを知られたくない生徒が数名おり、担任に助力してもらいました。
- ④全てを一つの大きな封筒に入れて（書類点検や確認用に）、生徒とやりとりした。

## マイナンバー

- ①マイナンバーの提出ができていなかった。
- ②マイナンバーは郵便局で受け取る簡易書留の証明書（領収書）を学校で作った「提出用紙」に貼付して提出させ確認。全員提出させて確認した。
- ③マイナンバーの不備の件は、保護者が電話してもつながらなかったため、入力のプリントアウトを見ながら生徒、保護者と面談して足りない書類を揃えてもらいました。一番多かったのは、パートをやめた、あるいは単発のバイトをしたから「退職証明が必要」というものでした。事情書を書いてもらいました。
- ④浪人生からは携帯アドレス、電話をきく。決定通知は郵送、本人に住所、切手をはらせる。
- ⑤大変だが、マイナンバー提出用紙の番号を先にスカラネット入力用紙に書いてから生徒に渡す。
- ⑥マイナンバー提出について
  1. 青色封筒は一旦学校で預かる。別の学校の封筒を配布。
  2. スカラ入力までに必要なコピーを準備させ、入力当日に学校封筒に入れて提出させる。
  3. 入力が終了したものから担当者のところに入力確認用紙とともにマイナンバーのコピーの入った封筒を持って来させ、担当者のところで（担当者には見えないようにして）中身の確認をさせる。
  4. カードのコピーと身分証明書があることが確認できたものに青色封筒を渡し、その場で封筒記入させる。
  5. できた者からすぐに学校そばの郵便局へ送付に行かせる。こんな感じで乗り切りました。
- ⑦マイナンバーの送付期間の徹底がなされていなかったと思います（何度も説明したのですが）。
- ⑧マイナンバー郵送では書留の控えをもってこさせ、番号を控え、提出したかの確認をした。ただし、中身を入れずに送った生徒もいた。
- ⑨マイナンバーを紛失されて困った。本人がコールセンターに電話したがつながらず、学校側で連絡したが、「個人情報ですから」という対応だった。
- ⑩マイナンバーを遅れて出した人に対して所得証明提出の指示があったが、問い合わせの回答がないまま保護者に説明できず、ようやく回答を得たのは〆切3日前。遅れたら不採用と言われて困った。

## 説明会

①全部！ とにかく「ゆっくり」「わかりやすく」「ポイントをしばって」説明する。担任が理解して

協力してもらえる体制をつくっておく。

②通信制なので一斉説明会が難しく、注意事項を細かく記入した例を全員配布した。

③説明会では、確認書、スカラネット入力準備用紙、書ける所はすべて書かせる。一人一人に付箋を配り、提出書類にその場で貼らせる。「マイナンバー提出書」には名まえだけを書かせ、全員分コピーをとり、入力するときそれを配ってパスワードを入力させた。

④事務室が担当しており説明会が難しい。

⑤進路説明会時に奨学金説明会を実施。

## 書類の提出とチェック

①かなり強調したのですが、児童手当や児童扶養手当の書類提出がないケースが多かった。

②印影のかすれやにじみをどこまで許すのか。はっきりと押印できてないと不備とするため回収が難しい。

③慣れてしまえばどうにかなる。マニュアルを読めばだいたいのケースに当てはめられる。書類点検は担任に協力してもらおう。(不備があったら JASSO から戻ってくるでしょう、という心で。) これでだいたい乗り切れる。

④各種の証明書類の取り寄せが生徒にも大変でした。

⑤書類点検では 250 名以上を一人で確認していたため、残業の毎日だった。

⑥鉛筆書きのまま提出した生徒がいた。

⑦通信制ですので LHR がありません。すべて郵送での対応となり、不備対応に追われています。チェックは係が、生徒とのやりとりは担任に任せるかたちが一番有効でした。

⑧再就職した、最近仕事を変えたという方がとても扱いが難しかった。

⑨生徒保護者の方々の奨学金書類作成における理解が進まず、すべての業務に時間がかかり、忙殺されました。書類チェック等は連日残業しておこないました。保護者への電話対応も多く、授業準備等にも支障がありました。

## 進路調査・奨学金チームより

しめきりに遅れないこと、また書類提出の際には複数でチェックすることが大切だと考えます。そうしておけば、書類の行き違いなどがあっても、自信をもって対応できます！

## JASSO とのやりとり

①昨年は電話のみならず、FAX の回答にも時間がかかっていました。

②問い合わせの電話はまずつながらない。FAX を利用する方法もある。

## 進路調査・奨学金チームより

Q&A がわりと更新されているので、HP をこまめにチェックするのも有効だと思います。

- ③事務センターの担当者の理解が徹底されていないようでした。聞かなくてもよい家計事情をきいてしまったり、何度も連絡をしたが、結果的には何も直すことがなかった等。ご家庭に特別な事情のある方に連絡するには慎重にしなければならないと痛感しました。支援機構の方にも配慮をお願いしたいです。
- ④非課税世帯の結果が併用希望にもかかわらず、第2種のみしか〇にならなかった。問い合わせると通知が間違っている。マイナンバー未提出による不採用と言われる(2回もあった)。
- ⑤学生支援機構のやり方が毎年変更されるので対応に苦慮している。

#### 体制その他

- ①毎年変わるので全くベテランになれない。仕事をとにかく分担する。
- ②たくさん種類のある奨学金なのに、送付したり持参したり、と前日とか急に誰からともなく言われることに困ったりします。
- ③担任の推薦書の訂正など、どのようにすれば気持ち良く仕事ができるのか困っています。
- ④下書き指導はフロアーなどで机もないところで担当3名で一気にやったため、ごたごたした。
- ⑤進学し、学業を続けていくのに、本当にいくら必要なのか本人にも保護者にも教員にもはっきりわからなかった。

## 2 <今年度の指導への不安>

#### 不安

- ①初めてなのですべてが不安。
- ②去年の担当者と一緒に来たら良かったと思います。何が変わったのか実感が持てない。
- ③初めてですが、引き継ぎ資料をくださったりしてイメージできています。
- ④久しぶりに担当になったが昔の日育と大違い。しかも大変更の年ですべてが不安です。
- ⑤主担ではないものの、直接の窓口は自分なので保護者への対応が不安です。

#### 国籍など個人情報

- ①国籍は問題だと思います。やめてほしい。
- ②スカラネットの国籍入力の場合、ぜひ検討してほしいです。

#### 日程の遅れで書類処理がきつい

- ①配布のタイミングが例年より遅く、対象生徒数は増えている。入力までに書類不備のチェックが終えられるか不安である。
- ②給付採用、給付対象校の公表が9月と遅く、保護者、生徒への対応がすごく不安である。
- ③生徒配布用の資料が届くのが遅い。6月の保護者懇談前に説明会(資料配布)できないと苦しい。
- ④本年度は指導期間が短いので、他の業務との兼ね合いが心配です。また、多額の借金を抱えての進学は本当に将来返還できるのかと心配しています。期間が短い分、問い合わせに一層時間がか

かるのではないかと心配です。回線を増やしてほしいです。

- ⑤説明会が6/18、20で7/1提出×切、その後すぐ期末考査、7/8テスト最終日から7/12まで入力という非常に短い期間で指導せねばならず、7/19終業式までにはたして終わるのか不安です。
- ⑥期末考査がはさまることが一番不安です。生徒も大変ですが、自分自身の本来の仕事の方に支障がないか不安です。
- ⑦スタートが遅いので夏休みはなくなるかも。

### 制度変更

- ①申し込みが一回になったことが不安。結果通知が遅いので専門学校やろうきんの対応も不安。
- ②一回しか申し込みがないので後から申し込みたいという生徒が出てこないか不安。

#### 進路調査・奨学金チームより

在学中の生徒さんには申し込みが一回しかないことを徹底して伝える、あとから申し込みたいという生徒さんには進学してからでも申し込めることを伝えるという対応ができると思います。

- ③生徒保護者に連絡してから配布～回収の日程がタイトで不安。
- ④×切が2度あることで、それを生徒に掲示していいのか。掲示することでまだ大丈夫、と思う生徒がいて書類提出してくれない生徒が多くなるのではないか。
- ⑤IDを同時に渡して各自が入力できるのか？
- ⑥所得ギリギリで給付対象にならない生徒には不公平感がでると思う。
- ⑦つなぎ資金が利用できなくて大丈夫なのかしら！？

#### 進路調査・奨学金チームより

進学する学校と相談し、納付を待ってもらうなどの必要があると思います。

- ⑧評定平均をどうするか。1、2年平均に3年1学期を加えると上下するケースがある。

#### 進路調査・奨学金チームより

原則は1・2年の成績だと思いますが、入試の際と同じように考えるのがよいのではないのでしょうか。

### 給付対象校

- ①給付対象校がわからないというのが不安です。大学でも10校減ということでしたが、仮にその大学に合格していて対象校になっていないということであれば、生徒や保護者の不安（この大学は途中でつぶれるのではなど）が予想されます。短大や専門学校ではもっと増えるのでは？

### 職場の体制

- ①話を聞き終わって、みんな一人なんだと少し安心しました。まず聞いてもらえる説明会の準備がんばります。

②私が事務方なので、生徒の経済的背景に踏み込むことに担任等の教員は及び腰（担当しないのが主要因だとは思いますが）。昨年度まで就学奨励金の提出証明書類を参考にしていたが、今年度はそちらもマイナンバー導入で、いよいよ経済状況を察するのが難しく、他校さんはどう関わるのかとても興味があります。

③就学支援金業務には臨時に要員がつけられるのであれば、奨学金業務にも臨任が採用されるべきだと考えますが、そのような動きはありませんか？

④昨年は担任にチェックを頑張ってもらいましたが、負担感をかなり持たれていました。他校ではどのように協力体制を作られていますか。

進路調査・奨学金チームより

「担任も協力」の体制をいったん作ると、次からすすめやすくなると思います。

⑤定時制で、申請者は年1-2名。卒業生は30-50名程度でJASSO担当1名で対応できています。

⑥話を聞いて不安になってきた。就職指導も同時にあるので不安です。チームであたりたいと思います。

⑦自分が奨学金のことをよくわかってない中で、生徒の進路に関わるお金のことを担当して大丈夫か。学校で扱う内容ではないと思う。

⑧このような情報共有の仕組みは、特にモチベーションの面でとてもうれしいです。「他にもこのしんどい仕事を同じ思いでしている人がいる」、これが分かるだけでもとても良かったです。

⑨自分が倒れたらどうなるのか不安です。

⑩奨学金担当者のネットワークを作れば、教えあいなどで支援機構の負担も減るのでは？

進路調査・奨学金チームより

府立人研 教材・資料開発プロジェクト「進路調査・奨学金」チームにご連絡ください。

⑪FAX、メールでも問い合わせができるようなシステム、担当者間で共有できるようなコミュニケーションサイトがあれば良いと思う。

⑫みなさん同じことを思っていると実感しました。基本的に大学予約はひとりでしていますが、前任者に協力してもらったり、高3担任団には推薦等協力してもらっています。年度当初には学年会議でながして協力を訴えています。保護者からの電話窓口も一本化してひとりにしています。

指導方法その他

①知的障がいの生徒にどのようなかたちで伝えるのが良いか。

進路調査・奨学金チームより

保護者の支援が必要だと思います。

②本校では大学進学は基本的にはないが、希望する可能性をどこまで想定して各種連絡を周知するか。

- ③DVDがあるそうだが、どのように活用しているか。書類チェックのポイント、指導の流れ、わからないことを気軽に相談できる方がいると助かりますが…。
- ④JASSOの説明で曖昧な表現があり、どう生徒に伝えたらいいのかと。
- ⑤前半の説明で不安を感じましたが、実践報告を聞いて、気持ちは軽くなりました。
- ⑥進路説明、懇談、奨学金説明、保護者が毎月のように学校にくることになり、申し訳ないです。
- ⑦他の奨学金やローンなど貸付指導や利用のケースってどのくらいありますか？

進路調査・奨学金チームより

学年によっても異なりますので、一概にはお答えできません。 府教育庁 生徒指導グループに相談することもできます。

- ⑧学校で一括して申し込むかたちになっているが、個別申し込みの学校はどれくらいあるか？ 問題はないか？

【奨学金の担当年数】

1年目 … 31人	2年目 … 14人	3年目 … 9人
4年目 … 3人	5年目以上 … 16人	

【奨学金担当者の人数】

1名 … 16人	1～2名 … 4人	2名 … 18人
2～3名 … 7人	4名 … 6人	5名以上 … 9人

【担当している部署】

進路 … 31名	事務 … 11名	総務 … 9名	
生指 … 4名	教務 … 4名		など

情報提供していただきました

・香里又ヴェール学院より

同校ホームページ → 在校生・卒業生 → 奨学金

(奨学金制度について詳しくまとめられていますので、御覧ください。)

進路調査・奨学金チームより

様々なアドバイス、ありがとうございました。各校の状況や体制によって適宜、お役立てください。

奨学金に関する業務については、ひとりで抱え込まず、何かありましたらお気軽に府立人研までご連絡ください。

Eメールアドレス：[furitsujinken@nifty.com](mailto:furitsujinken@nifty.com)